

おかねのヒント

みんなで学ぼう

知るぽると

www.shiruporuto.jp

金融広報中央委員会

新しい年を迎え、127万人が成人式を迎えました。

少子高齢化の進行に伴う各種社会制度の見直しや企業の新卒採用の抑制など、若者を取り巻く環境には厳しいものがあります。リサーチ会社が今年の新成人を対象に行った意識調査では「日本の未来は暗い」とする回答が8割を占めた一方、「自分の未来は明るい」とする回答が6割にとどまりました。また、将来の希望については「安定した生活」「幸せな家庭」「お金持ち」といった回答が上位を占めました。

「成人」年齢引き下げの議論もありますが、いずれにしてもこの「成人」という節目を迎えることで、社会的には「大人」への階段を上ることになります。未成年の時とは異なり、自らの判断、意思表示には法律的な「責任」を伴うこととなります。そして自らの未来を明るくものとし、将来の希望を実現するために、人生のさまざまな局面で適切な選択を行う力を養っておく必要があります。

私たち金融広報中央委員会（知るぽると）では、子どもたちが生活に欠かせない「お金」とのかかわり方をよく考え、健全な価値観と正しい知識を学ぶとともに、社会へ巣立つ前の段階で「ライフプランへの意識」「金融トラブルへの対応力」など、社会を生き抜く力を身に付けることが重要だと考えています。このため「金融教育研究校制度」を運営し「金融教育公開授業」を展開するなど、学校の金融教育の取り組みをサポートしています。ぜひ皆さんも知るぽるとのホームページをご覧ください。金融教育への関心を高めていただきたいと思います。